

2. 短期研修

(1)(公衆衛生看護管理者研修)フォローアップ調査回答合計集計表

Q1. 本研修は役にたっていますか。

回 答	派遣元	研修生
1 たいへん役に立っている	23(53.5%)	23(32.4%)
2 役に立っている	20(46.5%)	41(57.7%)
3 どちらとも言えない	0(0.0%)	6(8.5%)
4 役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)
5 全く役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)

SQ1-1 (Q1で1, 2を選んだ方へ)どのような点で役に立っていると感じますか。(自由記載)

<p>スタッフの指導や事業の取りくみについて考え方の方向性を決める際に役立っている。</p> <p>管理的な立場で保健医療施策にマネージメントを職員に対して実践していただけており、また、研修受講生自身の問題意識・課題の捉え方にも変化が生じ、モチベーションの向上につながっている。本市では特に受講生に研修講師として人材育成に従事してもらっており、更なるステップアップにつながっている。</p> <p>①最新情報が得られる②他県の保健師との情報交換</p> <p>①業務の企画・実施・評価の検討において有効②人材育成において有効～DJTへの活用</p> <p>①本研修を受講したことにより、保健師のリーダーとして必要な基本的な能力、行政・専門能力も習得され、組織の内・外部との関わり、動向にも目配せができ、随所にその成果が見られる②部下の活動に対するスーパーバイスができ、人材育成に必要な指導力も培われている。</p> <p>2名とも本研修受講後、道主催の研修等で講師を務めており、研修での学びを積極的に現場に還元している。</p> <p>①研修での学びを他の保健師に伝達講習して、共有化できている②係長の立場から、現場で学びを活かしたリーダーシップをとっている。</p> <p>県開催の人材育成検討会などで、積極的に発言してる。</p> <p>①新しく課長になった職員を派遣しているので、管理者として必要な知識や保健活動の計画・評価等に関する知識・技術を習得する点で役立っている②リーダー保健師研修時に研修伝達を実施している。</p> <p>保健師管理者としての理念や効果的な地域保健活動の計画・評価を学び具体的に現場の保健師活動に活かしている。また保健師の人材育成のあり方について学び、新人保健師の育成に直接関わっている。</p> <p>①時代にあった施策の立案、実施、評価ができる②管理者として現任教育ができる③全国を知ること自分の自治体の状況がわかる④全国ネットワークができた⑤各自記入して提出</p> <p>人材育成の重要性、必要性が理解でき、現任教育の実践に活用している。幅広い管理者保健師としての知識・技術が習得できる。</p> <p>当市では階層別研修がないため、この研修を管理期研修として位置づけている。内容も最新のものが入っており、役立っている。</p> <p>新規採用者の指導に研修で得た知識や技術が役立っていると思われる。また今後、中堅研修を予定しており、より良い研修の実施に向けて力を発揮してもらえると考えている。</p> <p>管理に関する理論や活動計画・評価に活かされており、課長及び班長としての役割を果たしている。</p> <p>研修に参加した方の復命をお聞きし、生き生きとしてハツラツと見える。またこれまでの視点とは異なる考え方が周囲にも影響を及ぼしている(いい面)。</p>

公衆衛生看護の現状から、今何をなすべきかを実感し、自分の言葉で語れる研修であるため、保健所・市町村の後輩育成や活動に良い刺激を与えている

所属のリーダーの役割として、一層活動をしている。

広い視野で仕事を考える事ができ、評価を見据えた計画と考える事ができている。

県が主催する研修会にコーディネーターとして協力していただくなど、受講者のみならず、県の保健師の資質向上に貢献している。

グループリーダーとして管理的能力を発揮している。

本市では平成18年度から、貴院で作成された様式を用いてPDCAサイクルに基づく、保健事業の企画・立案・評価を全区保健福祉センター保健師管理職会(地域活動担当係長会)で取り組み、今年度は「介護予防・生活習慣病予防ポピュレーションアプローチの実践」をテーマとして、月1回の同係長会において、情報交換やグループワークを行い、各区において活動を実践している。この係長会活動のきっかけは本研修の受講であり、受講者が推進的役割を担っている。

①県内の保健師実務者会議等で伝達研修をしており、学んだ内容の一部を周知している②各研修生が生き生きと研修内容を説明している様子からも、深い学びを得て、公衆衛生看護管理者としての職務に反映していると感じる。

①行政保健師としてのあるべき姿、リーダーとして果たすべき役割を、時代の流れを踏まえ、多角的に学ぶ機会となっている。他の行政保健師リーダーにも研修での学びをリーダー保健師対象の研修会で伝達してもらう事で、県内保健師全体の資質向上に役立っている②受講者は所属や関係機関との活動において、受講前にも増して管理的立場を自覚し、役割を発揮している。

保健センターの各事業全般における専門知識の習得により、保健行政の円滑な推進が図られるため。

研修参加後は学んだ情報を活用しながら、地域事業に役立っている。また得た知識を活かしながら、後輩保健師育成に取り組んでいる。

①自己表現・プレゼンテーション技法に進歩が見られる②住民への助言やサービス提供に研修内容が反映されている

業務と密接に関連のある分野であるため。

①業務の捉え方の視野が広がった②管理的立場の自覚が高まった。

①現任教育等においてリーダーシップを発揮している②本庁が主催する各種研修会・事業の企画・運営に協力してもらい、また、講師として従事することにより、研修効果を全県下に伝達できている。

受講者にとってタイムリーな研修内容であると思う。研修終了後には、保健師OJT研修の講師や所属する職場で伝達研修を実施している。今後も県内保健師の人材育成の体制を整備していく中で受講者には役割を持ってもらい、活用していきたいと考えている。

係長級の保健師に研修を実施することで、リーダーシップが身につくとともに、より一層の専門知識も習得できるため。

①公衆衛生看護の最近の動向を知る事ができ、現状から今後の業務について学ぶ事ができた事が役立った②他県の取り組みが広くかつ詳しく学習でき、参考になった。

国の動向を理解することにより、事業計画時に反映させる事ができた。事業策定・評価時に考え方や視点等講義が役立った。

現在中間公衆衛生看護管理者として、研修で習得された知識・技術を基に、より効果的な活動ができているため。

現在、本庁の係長として、管理的立場に鑑み、係員や、現地機関の保健師等に対し、指導を行うことに役立っている。研修後、復命を行い、保健師に還元している。

保健所の保健師課長会議や県職保健師研修会等に置いて、研修内容を報告し、現任教育の一環となった。

計画作成時、実際様式等利用している。また、係員に伝達研修し校区レベルの計画等利用している。

①自分自身、又、スタッフが保健活動、事業評価や新規事業を検討する際の組み立て方、まとめ方が参考になっている。②業務分担から地区分担へ移行する際、研修中に行ったディベートで整理したこと、資料収集したことが役に立っている。

広い視野と考え方のすじみちを学ばせてもらったと思う。

事業評価の視点のとり方について役立っている。

「評価」全般について大変役立っています。①予算編成時②他職種との意見交換や調整時 等
現任教育を担当する部署へ異動し、評価の考え方、方法、人材育成の基本的な事、管理者としての役割が学べて良かった。

①保健活動を展開、推進していく上で、あらためて住民の生活、生命を担保する視点を考えている。②日々の業務の中で人材育成を常に忘れずにいる。

特定健康診査保健指導等、新しい制度への移行期にあたり、早めに情報を得ることができた。

公衆衛生看護活動のあり方、保健活動の評価を学んだことで保健師活動をまた改めて考える機会となり、部下へのアドバイスなどする際の根拠や裏づけとなっている。又、係内事業についても評価し、次への展開をどうするか検討していく際、“保健活動の評価”で学んだ考え方、評価の仕方が役に立ち、かつ、部下への指導にもつながっている。「ディベート」「プレゼンテーション」は他課との会議や予算のヒアリングなどに役立っている。

①事業評価の方法について、グローバルな視点でとらえていくことが学べ、実際に評価表を使っている。評価指標についても企画・実施・結果に分けて評価するよう心がけている。②他市との情報交換ができ、研修後も情報共有ができています。

①体系がけて仕事をするようになった。②プレゼンテーションの力量がアップしました(自分の中では)。講義で学んだ事業評価の手法や保健師現任教育の考え方について、日常業務に取り入れている。

①公衆衛生看護管理について理解したことで自分自身の意識が変化した。②保健活動の評価演習、プレゼンテーション、ケースメソッドなどを部下の育成や指導に活用させてもらっている。

保健活動の評価、演習は事業見直しのよりどころになっています。プレゼンテーション—新規事業の計画の説明時等学んだことが非常に役立っています。

現任者教育を担当する中で、研修で学んだ点を思い出しながら研修等を企画している。研修時、他府県の資料をもらったこともよかったし、意見交換をしたことで、情報が得られた。同じような課題を抱えている県もあったし、政令市などでは、思いがけない問題などもあり、グループワークの中で色んな視点で議論できたこと。

①県保健師会の研修企画や活動のあり方をまとめる際に学んだことを提供し、検討するときに役に立った。②新任保健師の研修で保健活動の評価で学んだ考え方をもとに指導にあたることができた。③公衆衛生看護管理コースの受講者が集まって継続した勉強会を行う機会がもてた。

①企画、評価の考え方②他研修生との情報交換

保健師リーダーとしての自覚とそれに基づいた人材育成、業務遂行管理、学生実習指導者としての役割。

公衆衛生活動を行う中で、常に看護職の課す役割は何かという視点が研修の学びとして大切だったと思います。

①公衆衛生看護活動のあり方や公衆衛生看護管理の考え方など基本的な事は当該研修で学んだことで再確認でき、仕事を進める上での糧となっている。②また、ディベート演習やプレゼンテーション演習は、グループでの意見交換や実際の取組がとても役立っている。

仕事を続けていく力になりました。

①事業立ち上げ実施する上での考え方注意等(計画立案、プレゼンテーション)。②現任教育等の情報(職能委員としても活用できた)。

①保健師業務の評価について、その必要性を改めて実感し、事業の取組に心がけるようになった。②医療監視(病院立入検査)について、その意義を深められた。

保健活動の評価演習は事業計画から評価までの一連の流れやポイントが再確認できた。人材育成ワーキングにチーム員として出席し、研修において習得したノウハウを生かすことができています。

①学生実習の際、現在のプログラム等が従来と違っているので目標の設定の仕方などが現況にあわせられる。②事業評価の方法

①今までしてきた事業の一つ一つに根拠や現状だけでなく工夫できることはないか、本当に必要か等、見方が広がった。②国や他自治体の情報を積極的に知ろうとしている。

①種々の計画書への見方、考え方。②課員、係員への育成。③意見・コミュニケーションのあり方etc
①保健師活動について、講義を依頼された時に役立った(これからの保健師活動のあり方など)。②全国の保健師とつながりができたことも研修の財産になりました。

7年ぶりに保健分野に戻った時期に研修を受講しました。公衆衛生の動向も、現任教育、人材育成等が役立ちます。今年異動し、今年度新規採用(大卒)保健師を迎えたことや、前橋市の中核市移行準備、県の保健所の組織見直し等があり、これらの業務に研修内容を反映させたり、他県の方との情報交換も行っています。

①最新情報が得られたこと(特定健診・保健指導の考え方・教育プログラムなど)②他県の保健師との情報交換

管理者としての自覚が持てた。

①活動目標の設定・考え方②活動評価方法

評価演習がとても力になっています。活動(事業)の目的・目標にいつも立ち戻り、班員・スタッフと確認するようにしています

保健師活動の理念が再確認できた事により、以前よりも前向きに仕事をして行こうという気持ちが強まった。

地域の健康問題と公衆衛生活動を見直すことができた事で前向きに業務に取り組めたこと。人材育成のための体制や方法について、対応する立場になったため、身をもって誠実に対応しています。

①通常業務の中で研修で学んだ視点で、自己担当業務、部下への指導を行っている②PHN勉強会で事業評価について継続して実施している③業務全体について目的・目標・思考が定着し、一つ一つ業務性が高くなっている④現任教育についても実践している。

職場のリーダーとして保健全般を見る目・考え方などで役に立っています。

①事業を企画立案するときの考え方②講義で頂いた資料・統計等③最新の公衆衛生情勢が理解できた④事業評価の考え方。

課長として部下への対応や市町支援において役立っている①管理者の役割②人材育成
保健師活動全般

①全体を通して管理者としてのモチベーションが高まった②各論では虐待・人材育成について学んだことを参考に業務改善を図っている③演習では事業評価について学んだことを部下へのアドバイスとして生かしている。

公衆衛生看護活動について、これまでの振り返りをする機会がもて、これからの課題整理ができた(公衆衛生看護活動のあり方～公衆衛生看護行政の動向～公衆衛生看護管理者の役割～地域保健活動)参考になりました。

保健事業の成果をいかに見える形にしていくか、日々の事業の中で考える事ができる様になったと思う。(基本的なことですが、課内で、課題や事業目的、実施内容の見直しをし、効果的な事業としていくための検討ができていると思う)。

①当県は業務担当性であるため、担当業務が偏ってしまうが、研修では最新の動向に触れることで広い視点で保健活動を捉えることの再認識と、今後の保健活動のあり方を考える機会となった②現任教育③保健活動の評価④全国の保健師との交流

①公衆衛生の動向について最新の情報を知り考える機会となった事が現場での事業展開を考える判断につながった②公衆衛生看護活動の課題について理解でき、現場スタッフや学生指導の視点になっている③PDCA～評価演習を通して企画立案の視点を学び、区の事業として中心となって実施展開している。

全国の現状や国の動向など、最新の情報を直接聞いて良かった。また当事者としてのなまの声が聞けた。

大きく分けて3点①まず自分の担当業務に対して保健活動・事業評価の研修を通じ、指導者やメンバーから多くのアドバイスをもらい、事業に生かす事ができた。また他の受講生のレポートは職場や担当業務が変わった時に参考とする事ができた②公衆衛生の最新の動向等は管内の市町村の保健師を支援していく上で役立っている。また今年度新規採用保健師を受け入れている③現任教育について資料を見返しながらか、対応している。最終日に行ったグループワークが考え方の視点として役立っている。

(他県の情報や、行政の動きについて学んだ事が)中間管理職としてのモチベーションが高まり、グループ内の職員へのアドバイスにつながっている。

健康づくり計画・高齢者福祉計画等の見直しにおける方向性、新人保健師育成計画の立案。

①評価の考え方②人材育成の考え方

①これまで低かった職責(役割)が認識できた。①コーチング②プレゼンテーション

①管理者としての視点の持ち方・心構え②他都市の情報(活動、体制他)③保健師として大切にすべきことPHNマインド

①保健事業の評価について、担当している業務に役立てた、また、企画の提案についても役立った②プレゼンテーション、毎日の色々なプレゼンテーションに役立っている③田上先生の講義・今後の活動について方向性を見出すことに役立っている④三重県の人材育成・ジョブローテーションがすごく先進的で参考になった。

①少ない職員配置(保健師も)の中で業務をしているので人材育成をどのようにしたらいいのか、専門性を高めていくにはどうすればいいのかと悩んでいるので、その考え方、進め方、他県の例は参考になっている②昨年の新潟中越沖地震、今年の岩手・宮城内陸地震において災害派遣され保健活動を行った。

①視野が広がったと思うし、色々な情報の中から大事な点は何なのかを選択するようになったと思う②保健活動に対しての意欲が持続されている。4月から別な部署に異動したが、ここにおいても実践にはまだだが、自分の立場で何をすべきなのか常に意識されているように思う。

他県のシステムの整った事業の進め方(企画→評価等)があるべき姿として勉強になった。

公衆衛生看護活動のあり方や公衆衛生看護管理者の役割、現任教育、保健活動の評価等の研修で学んだ事が特に役立っています。保健師が地域を担当する意味(保健師活動の原点)危機感を持って仕事に取り組むこと、考え方や方向性等について、学んだことを振り返りながら仕事をしています。また、新採職員を担当しているため、現任教育については研修内容や他都市の方から頂いた資料等が大変、役に立っています。

公衆衛生看護管理について、最新情報を講師から直接学ぶ事ができた。担当業務や後輩、市町村保健師等への助言、また毎月開催している管内保健活動研究会の運営に役立っている。(特に保健活動評価、現任教育、健康危機管理、医療監視、医療看護等と地域保健活動)

「保健活動の評価」演習にて、当該年度に取り組む予定のモデル事業を課題として持参し、計画～評価までをじっくり練り上げられ、帰所後早速実践できた②全国保健師長研修会(長崎県)でも企画のアイデアやケースメソッドへの事例提供等、楽しく取り組めた③県の公衆衛生研究会や佐賀の全国地域保健師学術研究会での発表へとまとめ上げる事ができた。

①事業を企画する時等、背景や目的～評価までのプロセスが自然と頭に浮かんでくる②全国規模の友人ができた事で、何かの時情報を得ることができる等、心強い。

SQ1-2(Q1で4を選んだ方へ)役に立っていない理由

SQ1-3(Q1で5を選んだ方へ)全く役にたっていない理由

Q-2. 今後も本研修に職員を派遣したいと思いますか。

回	答	派遣元
1	ぜひ派遣したい	26(60.5%)
2	派遣したい	16(37.2%)
3	どちらとも言えない	0(0.0%)
4	派遣したくない	0(0.0%)
5	絶対派遣したくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)派遣したくない理由

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対派遣したくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

事象に応じた内容で、基礎編・応用編を保健活動(公衆衛生・地域保健活動とは等)の学習を計画実施し続けていただけるとありがたいです。

細かい領域のプログラムを準備して頂いており、各々のコースに最新の保健医療情報が盛り込まれているため、内容的にも充実していると思う。一方で今後の保健行政の動向として地域ケアや住民との協同といった地域福祉保健問題への取り組みが期待されている。今後はそういった福祉・保健領域に関するコースの充実を期待したい。

必要な研修ではあるが、現場では長期間の研修参加が困難な状況になっている。

研修内容等は非常に実践的で、即現場に活用できるものであり、可能な限り、計画的に受講できるように予算を確保したいと考えている。

①保健師の分散配置で長期研修受講は現場としては大変であるが、受講したことによっての自身のモチベーションが高くなる事が、良い成果を上げているので、今後も研修会の継続をお願いしたい②研修科目の中での「実習」は大変であるが、自身の振り返り、他市の状況がわかるので有意義なプログラムで大いに役立ちます。

北海道では、本研修の推薦基準を受講後の実践に役立てるため、係長に就任後2~3年としている(そのため年齢50才未満となる)係長職の人材育成として要と考えているので、今後も1年に1名は受講させていただきたい。

保健師現任研修の体系作りや研修の企画に関する研修の実施。

管理者コースについては、実施時期が早いいため、前年度末が締切期限となっていますが、年度末は人事異動の関係もあり、人選も厳しい状況です。締切期限の延長を図るなどして、設定しやすいスケジュールにして頂けるとありがたいです。

管理的立場の保健師が3週間連続して職場を離れることは、現場の負担が非常に大きいため、研修期間をコンパクトのしたり、わけて実施する事も検討してほしいと思います。

本研修の申し込みは前年度末となっており、実施時期が夏以降になれば、新年度になり、申し込めるので、職場での状況を考え申し込む事ができる。同じ様に3ヶ月コースも参加させたいが、実施期日の関係で申し込みする人が多い。

国の動向等を踏まえたタイムリーな内容の研修を今後も開いてほしい。

国立保健医療科学院に出向いて長期の研修に参加する事が困難になってきています(人間的にも費用的にも)出向かなくても研修でてる様な方法も今後取り入れていただけたらと思います。

①派遣したいが、予算及び、人員減による人材が少なく派遣しにくい②研修生の目標(課題)に対して、集合研修と課題に対するフォローできる研修体制(メール等)を組んでいただければ、より有効な身につく研修になるのではないかと思う。

保健師の階層別研修はとても重要である。特に新人~中間期の人材育成について、集合研修だけでなく、遠隔教育も含めて、新たな研修ツールを開発教授願いたい。

中間職員でなく、全員からあらゆる場面で考えさせられており、有効性は大きいため、今後も派遣をしたい。

①西日本でも同様の研修に参加できるよう、新たな拠点がほしい②日々の活動実践に対するスーパーバイザーの派遣制度等を検討いただきたい③地域看護学実習の指導者養成研修を行っていただきたい。

①時機を得た、多彩な研修を企画いただいていると感じています②研修予算確保等厳しい時代ですが、今後も公衆衛生の英知の砦として、ご教示下さいます様お願いします。

保健師の専門性向上につながる本研修や公衆衛生看護中堅者コースは今後も継続してほしい。

①研修環境が良い。②数週間他県の受講生と学ぶことで自分の所属する自治体の施策やレベルが客観的に見ることができる。

新しい研修の方法(ディベートやケースメソッド)などを修得できることがとても良い。

自治体の財政が厳しい中、研修に関する予算が削られています。様々な受講形態での研修機会を提供お願いします。

もりだくさんの内容でしたが、知的刺激を受け仕事に対するモチベーションが高まったとても良い研修でした。

全国の公衆衛生活動を行っている仲間と交流できたことが大変良かったと思っております。

国の機関として、地方自治体の専門職種の人材育成を担っていることは大変重要なことであり、今後も基本的な内容のものに加え、時代の要請に応えられる内容の研修をお願いしたい。

講師群が全国からお越しになることで先駆的な情報が得られ、大変有意義な講義を受けられました。

①全国保健師とのネットワークにつながる機会となり大変良かった。②県型保健所保健師の業務遂行と地域での役割について今後ご助言を要望したい。

有意義な研修でした。ありがとうございました。

講師の方々が素晴らしい。

受講しやすい2週間～1ヶ月のコース研修企画が。

住まいが近いため、通いで研修に参加したが、かなりハードな研修だったため、宿泊した方が良かった(近い人は宿泊は難しそうだったが…)。

受講できて大変役立っています。ぜひ後輩にも受講させて上げれるよう予算を獲得したいと思っております。大変有意義な研修でした。ありがとうございました。

3週間もの間、先生方にしっかりご指導いただきありがとうございました。保健師の看護管理能力の向上は常に感じていたことで、私にとっていい機会に学ばせていただきました。三重県内の市町保健師にも広く受講されるよう伝達していきたいと思っております。

県外出張ができていく状況ですが、タイムリーな内容から基礎的な点まで様々な研修を企画いただきありがとうございます。研修機会をぜひ活用させていただけるようお願いいたします。

素晴らしいスタッフの講義内容は最新の内容でとても役立ちました。ありがとうございました。

素晴らしい学びの環境であり、ぜひ今後も職員を参加させたいと思っております。

3週間でも厳しいくらいのスケジュールだと思いますが、3W間職場を離れることも大変なので、2W+2Wとか、1W+1W+1Wとか連続ではなく、1～2週のスケジュールで2回研修などの計画は立てられないでしょうか。研修中は大変お世話になりました。

情報・資料も豊富で静かな環境でとても研修は快適でした。ありがとうございました。

とても内容の濃い研修でした。すぐに役立ち内容も沢山ありましたが、「じんわりと効いてくる」という研修でもあると今実感しています。ありがとうございました。またこれからもよろしくお願いします。

大変良い研修だったと思います。色々な内容と全国からの参加で情報交換もできて良かったのですが、若い方のグループと話が少なかったかなと反省しています。

今、地域保健(公衆衛生)の目指す姿と、現場の実態に、ギャップがあると思います。人材育成や現任教育、業務態勢のあり方等、課題はかなり明確に出ています。具体的な実践に結びつきにくい状況だと感じます。活動につながる研修の検討が必要だと思います。

管理者コースのその後のフォローアップ研修などがあれば嬉しいです。

本研修について:約3週間集中して学ぶ事ができ、現場の課題や問題点。方向性について整理ができ、大変貴重な研修でした。また、他都市の皆様との交流や科学院の先生方のご活躍等を知り、全国ネットで何かあれば相談させていただける皆様がいらっしゃるという安心感が湧いてきたと思っております。

①他県の人との情報交換もでき、宿泊研修が大変有効と思っております②県型保健所の役割について日々悩んでいます。研修に継続して取り入れてくださるようお願いいたします。

現場の雑多さから距離をおき、モチベーションの高い参加者同士の刺激の中で、経験豊かな講師陣からトップレベルのトレーニングを受けることは、想像以上にエキサイティングな体験でした。先生方にはご多忙の中感謝しています。ぜひ長く続けてくださいますようお願いいたします。

プログラムの内容などもとても吟味されており、実践に即したとても良い研修だと思います。

下記研修について、県単位での研修開催は現実的に難しいため、しばらくの間、貴科学院において企画していただきたい。中堅後期保健師を対象とした健康危機管理研修(災害発生時編)(平常時編)※厚生労働科学研究費補助金—地域健康危機管理研究事業—保健指導者の育成プログラムの開発(平成20年3月)

研修期間を短くし、回数を増やしてはどうか。

研修後一定期間を置いてフォローアップ研修があれば、さらに効果が上がるように思える。

受講決定を早目にしていただきたい(他の業務との調整、交通機関の手配等の関連から)。

課題として上がってきていることをもっと踏み込んで解決策等を提案していく内容があれば良いと思う。単なる面接授業ではない工夫がされているので、他都道府県の受講者の方々と親しくなれる。研修終了後もつながりを持てる関係作りができることは良いと思う。

次年度の研修案内については、前年の10月頃に送付されてくるが、当該年度の4月頃にも再度送付してほしい(人事異動で人が大幅に変わってしまうため)。

①キャリアアップの一つとして本研修を活用していく事が良いと思う②都の活動を他県の方に知ってもらえる機会となる研修である③管理者としてのモチベーションを高めるよう研修内容である。

このような研修を企画していただくことを非常にありがたく思います。研修生は日頃の自分の業務を振り返り、見直すいい機会になり、さらに皆様より元気をもらって、その後の公衆衛生管理者として、より効果的な業務遂行ができると思います。

科学院の研修は、第一線の研究者や講師の講義が受けられるので、大変魅力的ですし、県としても派遣したい研修です。しかし、財政難の折、派遣するための経費は真っ先に削減対象となっているので、派遣できる回数も減らさざるを得ない状況です。

①中堅期及び管理期については、経験区分に応じ、必要な知識・技術を習得するための研修を今後も継続して実施していただきたい②管理期については人材育成を行う役割を果たすために必要なことを習得するための研修を実施していただきたい。

Q-2. 本研修を他の人に勧めたいと思いますか。

回 答	研修生
1 強く勧めたい	33(46.5%)
2 勧めたい	36(50.7%)
3 どちらとも言えない	2(2.8%)
4 勧めたくない	0(0.0%)
5 絶対勧めたくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)勧めたくない理由

--

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対勧めたくない理由

--

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

現在の2/3程度の時間数の研修としてほしい。可能な内容であったと思う。

ややハードスケジュールでした。

研修時期が7月頃が良い(勤務交代でまだ仕事に慣れない時期はさげたい)

(これはこちら側の事情ですが…)神奈川県内のため、通学しましたができれば宿泊研修として、全国の研修生との交流の機会ももう少し待てれば…と思いました。3週間は非常に有意義な日々でした。

色々な分野での研修が企画されているのでやる気さえあれば多くの職員も公衆衛生にどんどん参加してもらいたい。

研修等で指導をいただき、感謝しております。

熱心に研修して頂いた皆様方(職員の方)、本当にありがとうございました。全国の仲間にも会え、楽しい研修で今も心の支えになっています。

研修主任の総括的コメント

派遣元は全自治体が大変役に立っている、役に立っていると回答している。また研修生も9割が役に立っていると答えており、さらにすべての自治体が今後も職員を派遣したいと回答し、研修生もほかの人に勧めたいと答えており、評価が高いことがうかがえた。自由記載も多くあり、積極的に評価をされていると判断する。一つ一つの意見を丁寧に検討し、今後の研修に活かしていきたい。

個別質問

(公衆衛生看護管理者研修)フォローアップ調査

1-(1) 研修で学んだ判断の基礎となる最新の公衆衛生の動向について

①保健所内で伝達、説明ができた	33(63.5%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	21(40.4%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	8(15.4%)
④特に伝達、説明はしていない	9(17.3%)

1-(2) 研修で学んだ判断の基礎となる最新の公衆衛生の動向を

①現場における判断に大いに生かすことが出来た	18(34.6%)
②現場における判断に少し生かすことが出来た	22(42.3%)
③現場における判断にあまり役立たなかった	2(3.8%)
④どちらともいえない	7(13.5%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的にどのような際の判断に生かすことができましたか。

医療制度改革における生活習慣病予防の優先課題。
 特定検診のための準備
 人材育成・組織見直し・新型インフルエンザ対策
 関係者への説明の折、生かす事ができた。
 保健師の人材育成についてどうしていくかに関する事
 今後の活動についての方向性を見いだす事ができた。例えば新規事業計画の際など。
 新潟中越沖地震の救護に派遣され、公衆衛生の基本を常に意識し、臨めた。
 業務分担から地区分担に変える際の判断根拠etc。
 事業の見直しの際、現状分析だけでなく、国の動向や法の内容に目を向けるようになった。
 次年度の事業計画の策定にあたって。
 現任教育、活動の方向性を検討するとき。
 管轄市町への業務の評価
 業務を評価の視点をふまえて実施できた。
 スタッフへの指導時
 市町の事業評価会議で話し合う事ができた。
 同時期によく似た研修を受講した方の復命があり、強調できた。
 市の施策展開の際に、判断に自信が持てた。
 市の政策計画を立てる時役立った。
 以前学んだことの再確認として自信をもって他の人に話せた。
 医療計画に関する推進方針策定・研修チームの選定
 事業計画時に参考とした。
 新人教育・保健師現任教育

自己業務、部下への指導において目的・目標の思考を持ち、各事業の企画について目的・目標が明確になってきた。

健康増進対策において、食からのメタボリックシンドローム予防改善モデル事業で職域対象に実施したが、その際、研修内容を参考にさせていただいた。

特定健診・保健指導のすすめ方

事業計画立案

生活習慣病対策としてのモデル事業企画での視点に生かし、協議会にて説明。

特定検診についての話し合いで、各市町の動向について話し合い(説明会)で少しでも意見を述べた。

保健所再編に伴う、保健師活動のあり方。

研修の企画に際して

国や各自治体の動きを知ることで、自分達の方向性が間違っていないことを確認しましたので、常に、研修で学んだことを振り返りながら、進んでいけるよう努めています。

学んだからというわけではありませんが、生後4ヶ月までの全戸訪問事業、育児支援事業に関してです。

事業の企画・業務の方向づけ、今後の保健活動の方向づけ。

研修企画やケース支援

仕事を考える時に役立っている。

2-(1) 研修で学んだ地域の健康問題と公衆衛生活動の見直しについて

①保健所内で伝達、説明ができた	34(65.4%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	14(26.9%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	9(17.3%)
④特に伝達、説明はしていない	10(19.2%)

2-(2) 研修で学んだ地域の健康問題と公衆衛生活動の見直しについて

①保健所内で事業評価を実施することができた	30(57.7%)
②県(市)内で事業評価を実施することができた	8(15.4%)
③管轄市町村で事業評価を実施することができた	9(17.3%)
④まだ事業評価には取り組んでいない	12(23.1%)

3-(1) 研修で学んだ公衆衛生における指導者の役割について

①保健所内で伝達、説明ができた	34(65.4%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	12(23.1%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	8(15.4%)
④特に伝達、説明はしていない	11(21.2%)

3-(2) 研修で学んだ公衆衛生における指導者の役割について

①現場において大いに指導者の役割を發揮できた	10(19.2%)
②現場において少し指導者の役割を發揮できた	21(40.4%)
③現場における指導者の役割發揮にあまり役立たなかった	5(9.6%)
④どちらともいえない	13(25.0%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的にどのような役割を発揮することができましたか。

役割認識の高まり・リーダーシップ・コーチング

センターの所長として、部下への指導や業務の実施

人材育成・事業評価

役割を意識した発言・行動を取る根拠を自分で意識し、自信を持って行動に移す自分への動機づけとしている。

職位(業務担当主査)の範囲ではあるが、発揮することができた。

「健康づくり推進会議」で住民に説明できた。地区担当者と話し合いながら。

新任保健師教育の場面で。

現任教育・事業運営

まだ管理者の立場にはないが、今係長のいない体制の中、はからずしも、係長職の役割を十分に認識せざるを得ず、事実上の管理者(係の統括)を担っている。係長という人がいなくて、初めて知った係長の存在価値です。

現任者教育・研修等の企画

伝達研修

他の管理者の働きかけを手がけている。

部下への指導や次年度の事業計画立案

階層別研修のプログラム企画時に。

所内のリーダー格保健師及び市町村保健師リーダーと看護管理者の役割確認

現任教育

分散配置の環境においても横の連携をとり、様々な健康危機管理体制を整備した。

課内の活動(業務)を課題・保健所としてやるべき活動などについて課内で協議することを動議付け、決定し、実行するという役割(けん引役)。

班員へのコーチング、時間を守っての話し合いの徹底。県保健師長会での研修テーマを“リーダーシップ”と設定し、企画提案中(コーチング・現任教育・保健活動評価)。

グループリーダーとしての役割を再認識し、職員にケース対応アドバイスをした。

企画書による事業評価

地域全体を視野に入れ、マネジメントする機能について、若い保健師と一緒に地域に出てノウハウを伝えるよう努力しています。

管理者の立場ではないが、組織としての対応の判断・若い保健師への関わりなどに生かした。

管内市町村主務者に対する助言

現場における管理者として、後輩への指導。

仕事をしていく上で役立っている。

3-(3) 公衆衛生活動の課題(自然災害時活動、児童虐待など)について

①現場における課題への取り組みに大いに生かすことが出来た	11(21.2%)
②現場における課題への取り組みに少し生かすことが出来た	22(42.3%)
③現場における課題への取り組みにあまり役立たなかった	4(7.7%)
④どちらともいえない	10(19.2%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的にどんな課題への取り組みにどのように生かすことができましたか。

児童虐待のケースへの関わり

児童虐待事例の捉え方・援助の視点が深まった。

災害時マニュアルの見直し等

日々の業務やマニュアル・システム作り

具体的にはないが、管内の地域に対していろいろな意味でアンテナを高くして課題を把握する事。

児童虐待のケースへの関わり会議において、看護課題について示唆することができた。

新潟中越沖地震の支援活動を通し。

現場が児童虐待に関係ないところにはありますが、関係する職員とは研修を伝え話し合った。

児童虐待の取組について

どのような立場、担当者業務であっても、この視点を常に持って活動している。

伝達を行い、保健師間で協議も行った。

虐待予防のためのママの会やヤングママの会等

災害者リスト作成等の考え方に応用した。

災害時保健活動マニュアルの見直しの検討メンバーとなり、意見反映できた。

こんにちは赤ちゃん事業を、民生委員に説明したり、研修実施する時役立った。

研修企画と今後の対策を立てる必要性に再認識した。

地域の保健福祉等関係者への研修や市町村保健担当係長会議において、課題への取り組みを推進。所内保健師のマニュアル作成。

同職種の児童虐待予防担当者の参考となった。自然災害時活動について具体的にチェックリストづくり等進めていい。

まず状況を把握する事、訪問の重要性を伝える。

(例) 日常業務の中で、要援護者の情報を市町村に伝えること(本人の了解を得ながら)特定疾患

児童虐待予防の取り組みに対し、関係機関との協働・連絡調整を図り、問題点を生活・暮らし・地域全体を視野に入れて、地域全体で予防するネットワーク作りを生かすことが少しできたと思う。

児童虐待予備軍への保健師の日々の対応について指導する場合。

県担当者の災害対策。マニュアルについてアンケート協力・方針作り。

管内1市の障害者施策協議会委員会において講和をした。

難病患者への支援対策

日々の事例を通して、考え方や方向性等のおさえをする時に学んだことを振り返りながら仕事をするようにしています。

公衆衛生の立場としての保健所の役割、保健師の役割を再認識し、地域の健康課題の捉え方を意識して考えるようになった。

市町を含めてまずは職員への意識づけ、次に健康危機管理に向けて、日頃の取り組みを見直す。

MCGの運営・相談体制・学生への指導

日常業務の際に、研修生への指導、学生への講義

4-(1)人材育成のための体制、方法について

①保健所内で伝達、説明ができた	31(59.6%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	21(40.4%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	5(9.6%)
④特に伝達、説明はしていない	9(17.3%)

4-(2)人材育成のための体制、方法について

①現場における現任教育に大いに生かすことが出来た	15(28.8%)
②現場における現任教育に少し生かすことが出来た	21(40.4%)
③現場における現任教育にあまり役立たなかった	3(5.8%)
④どちらともいえない	12(23.1%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的に現場教育にどのように生かすことができましたか。

<p>学生実習・新人への指導・助言</p> <p>新人の育成マニュアルの作成ができた。</p> <p>新棟保健師の研修体系について検討し、実行している。</p> <p>県全体の人材育成が見直されることもあり、関心を持って、経過を見ている必要であれば、他県の先進事例の情報提供ができる。</p> <p>新人教育に活用</p> <p>県の現任教育指針策定に関わった。</p> <p>我市の問題・課題の明確化・重要性の再認識</p> <p>業務担当制になって、初めての採用者への教育で、伝えることの理解ができていない等で、伝え方のHowtoに役立った。</p> <p>リーダー研修を企画した。</p> <p>新採PHNに対して生かすことができた。</p> <p>指導要項(埼玉県)が参考になった。</p> <p>現任教育担当者となり、実際に企画実施している。</p> <p>20年度の新人保健師育成計画立案</p> <p>現任教育プログラム企画時に。</p> <p>所内保健師現任教育体制整備・市町村保健師の現任研修</p> <p>保健計画策定の教え方について</p> <p>現任教育研修体制支援、現任教育(新任PHN・2年目PHN研修)の実施。</p> <p>なるべく、同職種の会議に出席する事。</p> <p>企画・起案・評価時の意見交換</p> <p>卒後の時期における身につけなければならない能力・スキルを考えて日々の指導に活かしていく。</p> <p>①県保健師長会の研修テーマとして企画(H20. 2予定)②県内の市町マニュアル調査③新任保健師研修会実施(講師として企画)④職場でのOJT実施</p> <p>次年度の現任教育について検討した。</p>
--

研修企画の際に、参考になった。
 今年度の現任研修の企画・実施
 リーダー期における保健師の役割
 新人教育の中で指導の進め方や考え方を確認し、自分自身を省みる材料として生かしています。
 新人教育ワーキングGへの資料提供
 現在、新規採用職員を受け入れ、具体的な方法について検討しながら進めている。
 日常業務の際に。保健師職能としての活動の際に。

5-(1)保健計画の策定過程で重視すべき点について

①保健所内で伝達、説明ができた	20(38.5%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	8(15.4%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	7(13.5%)
④特に伝達、説明はしていない	22(42.3%)

5-(2)保健計画の策定過程で重視すべき点について

①現場における計画策定に大いに生かすことが出来た	4(7.7%)
②現場における計画策定に少し生かすことが出来た	14(26.9%)
③現場における計画策定にあまり役立たなかった	5(9.6%)
④どちらともいえない	7(13.5%)
⑤計画策定に生かす機会がなかった	17(32.7%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的に計画策定にどのように生かすことができましたか

計画策定した事で計画実現に向け、説明・展開とスムーズに進められた。
 事業計画から評価まで一連の中で生かす事ができた。
 現状の課題を上司に提言できた。しかし…
 計画策定時のアセスメントを気軽にするようになった。
 市町村計画策定の支援を行った。
 目的の捉え方をPDSに生かす。
 担当2町での計画策定
 評価を視点においた計画を考える事ができた。
 高齢者福祉計画や健康管理計画の見直し等に役立った。
 計画策定に向けての評価、計画、実施の全過程において考え方を生かしている。
 区の運営方針作成で利用した。
 予算編成作業等
 現状がわからないと何もできない事を周知し、地域ニーズ、他のニーズの把握に努めている。
 活動計画の検討時(評価時含む)
 HC、管内市町の保健活動計画が何のための活動かから、見直す事ができた。

6—(1)保健活動における効果的なプレゼンテーションについて

①保健所内で伝達、説明ができた	28(53.8%)
②県(市)内で伝達、説明ができた	10(19.2%)
③管轄市町村に伝達、説明ができた	6(11.5%)
④特に伝達、説明はしていない	18(34.6%)

6—(2)保健活動における効果的なプレゼンテーションについて

①現場におけるプレゼンテーションに大いに生かすことが出来た	10(19.2%)
②現場におけるプレゼンテーションに少し生かすことが出来た	23(44.2%)
③現場におけるプレゼンテーションにあまり役立たなかった	2(3.8%)
④どちらともいえない	4(7.7%)
⑤プレゼンテーションの機会がなかった	12(23.1%)

①、②に回答した方にお聞きます。

具体的にどんなプレゼンテーションの際にどのように生かすことができましたか。

<p>健康教育 伝えたいことをまとめたり、表現の方法を工夫するようになった。課・スタッフにも反映するよう意識している。 自分自身のプレゼンテーションの改善等と部下への指導 悪いプレゼン例をまずはさける行動の変化。 健康教育・会議での発言・説明など日常のいろいろな場面 「健康づくり推進会議」に実施計画を説明(住民対象) 重点事業作成の為にプレゼンに活用できた。 新規事業をスタッフ・上司・県担当課へ説明する際に、自分の癖が出ないように心がけた。 印象に残る媒体作りをするよう心がけるようになった。 ①災害時保健活動の実際や、生活習慣病棟健康教育を対象者に効果的に行った②上司や同僚への説明など必要な時に自分が伝えたい事と合わせて何を相手が知りたいか求めているかを考えるようになった。 保健所内・県内の集まりの中で学んだことをプレゼンした。 県協議会やらの助成金を貰う際。 伝達研修 健康教育(小・中学校) ケーブルテレビの放送等に役立った。 1ペーパー方式を活用中 会議等で役立った。 講義の演者として 事業企画、学会発表練習時の助言 実際にプレゼンを行うときに活用した。係員へも伝達活用している。 実習生・新採用者オリエンテーション・予算要求 プレゼンテーションツールは県等で定められた様式を使用したが、その視点やポイントを生かし、説得力が強くなった。</p>

ヘルスプロモーションについて所長・次長・所内保健師に伝える際に実践した。
 事業計画(企画)プレゼンにおいて、どこにポイントを置いていくか、資料作成。
 プレゼンテーションの資料作成(難病連絡会)し、担当保健師へ提案。関係者への打ち合わせにて説明。
 健康教育実施時
 健康教育を実施する時(住民を対象とした)。
 研修の講義・会議での説明に際して
 自分自身のくせや曖昧表現等に気をつけるようになったと思います。
 健康教育における話し方・資料の作り方
 予算要求資料作成、講義や講演時の話し方。
 日常の業務・健康教育等

7-(1) 研修に参加して高まった保健活動へのモチベーションややる気・元気等が

①現場でより一層高まっている	9(17.3%)
②現場で維持されている	37(71.2%)
③現場で低下してきている	4(7.7%)
④研修ではとくに高まらなかった	1(1.9%)

③に回答した方にお聞きします

現場に戻って保健活動へのモチベーションややる気・元気が低下した原因はなんですか。

活動の方向性の共有が難しく、現任教育の壁を感じている。
 職務上の課題について、先進的に取り組んでいる所属への情報提供依頼することができた。
 研修とは関係はありませんが、PHNを始めて、職員の病休や能力の低下があまりにもひどい。一人分の業務をあたり前にこなせない人のカバーに元気な職員が体力・気力をそがれてしまっている。重症です。その上ちょっとした事からの公務員バッシングにトップが萎縮しているというか、妙な対応をしてしまうのでますます働く気が失せる。下のものが安心してのびのび仕事できる環境に戻るのはいつのことでしょうか、無理かな。
 現場に帰ると現実の問題に引き戻される。
 職場の(事業)の問題、研修はない。異動によるもの。

7-(2) 研修で構築された他の参加者とのネットワークについて

①現場において大いに生かすことができた	8(15.4%)
②現場において少し生かすことが出来た	23(44.2%)
③現場においてあまり役立たなかった	1(1.9%)
④現場において今のところ生かす機会がなかった	17(32.7%)
⑤研修でネットワークはできなかった	1(1.9%)

①、②に回答した方にお聞きします。

具体的にどのようにネットワークを活用しましたか。

業務改善のための資料提供をお願いし、ご協力を頂きました。

組織見直し・新型インフルエンザ対策などについて情報交換した。
 先駆的な活動をしている行政の情報収集の窓口になってもらうなど、ネットワークを活用させてもらっている。

中越沖地震の支援で参加者と現場で再会、引継ぎがスムーズに行えた。

1年間メール交換の中で情報を得た。メールアドレスの交換が会員皆の目にとまる。

事業の内容についての問い合わせをした。

事業に関して情報を得る。

他県の事業のすすめ方等を研修中に情報交換したことが、帰ってから、仕事に活かされたことが、いくつもあった。

3週間の中身が盛り沢山で、レポートに追われ、少しきつかったです。PHN交流の時間(他都市の情報収集に役立つ)がもう少しとれればと思いますが、難しいですか。

メールでの情報交換

他府県の情報を参考にすることでできた。

他の自治体への問い合わせ等

ネットワークではないが、他県受講者と時々、情報交換実施している。

他自治体の取組状況等情報交換

①新潟沖地震時の支援をいただいた②神奈川県へ当難病事業についての照会に回答した。

職場での保健活動に関する情報交換ができた。

①研修生名簿や名刺交換をもとに、モデル事業の具体的(電話やFAXで)資料を取り寄せたり、情報交換をした②日本公衆衛生看護研究大会の分科会発表者へも電話やメールで資料を取り寄せた。

事業実施に係る他県の情報収集。

たまたま里帰り先(研修にも参加していた市の保健師へ依頼したらスムーズだった)で育児の問題で悩んでいる母親の支援を依頼する事ができた。

個人的には情報のやり取りをしている。

新規事業の進め方について、資料を求めたり、人材育成計画を送っていただくなど。

他県の事業の取り組みの情報交換(その中で事業の見直しが違った視点でできる)

関東地区参加者での情報交換、同じテーマでグループワークをしたメンバーへの問い合わせ等

①業務上の情報交換②災害時の情報交換

情報提供

8. 研修終了から現時点での思いや、研修に対する意見・要望があればご自由にお書き下さい。

管理者としての体系的な研修を受けて、自分の役割について意識が高まりました。しかし、リーダーシップを発揮するには、自分の力量を含めて各スタッフの職制や考え方等、違いも大きく、課題もたくさん感じています。

①大変有意義な研修でした。職場の後輩にもぜひ受講させたいと思います②あの研修以後は、自ら学ぶことにより、積極的になりました。

研修参加はモチベーションがあがるとともに、現場で取り組めるヒントとなる情報をたくさん受け取る事ができたと思う。

研修をこれまでに具体的に生かす事ができませんでしたが、今年度より、保健所に戻り、管理的立場になる事ができました。今後の活動にいかしてまいります。

早、3年目という事が驚き、研修でお会いできた先生方をその後、公衆衛生学会や師長会等にお招きできた事等、全国の風がまだ感じとれる事に感謝します。今、介護保険課に異動していますが、座右に研修綴りがあり、また、見返したいと思っています。

ネットワークができることで、必要な情報・意見等を得られやすくなります。全国からの講師群の調整は、この研修だから、可能かと思いました。

公衆衛生の視点で保健活動を進めることの重要性を改めて認識する事ができた。

事業計画策定や事業評価をする際、科学院のシートは役に立っています。

大変お世話になりました。研修では、同じような立場の方やそうでない方等、いろいろな方と話をすることで、狭い所しか見ていなかった自分がわかりました。各講師の方からの学びは少しずつですが、生かしていると思っています。

お世話になりました。同職種での研修の機会がほとんどなくなりました。同職種での研修の貴重な機会です。

あまりに違った立場や、地域の状況や、システムのため、へえー、という感じで、自分の仕事にあてはめにくかった。特別区の保健センターはあまりに他県と違いすぎた。

他の機関でのまとまった研修を受けても思うのですが、知識よりも「ものの考え方」を考える、感じる研修を企画していただけるとありがたいです。

伝達はしたが、なかなか業務の中で生かすことができないので、中堅研修でシート研修を取り入れることにしました。

自分のポジションが変わった事で、研修当時の思いとは違ってきています。後輩たちが、いかに元気で保健師として活躍してもらえるかを、日々の中で考えています。

今年の4月より、本庁の健康づくり等計画策定する部署に異動となり、研修項目の、現在の公衆衛生の動向や課題など役立った。資料等再度読み返し利用した。

①他県の職員と3週間学び、情報交換する機会は、二度とないと思う(貴重な機会)②時々、受講生と情報交換や近況報告をすることで、仕事へのモチベーションが維持できる。またお世話になった講師について、現場での研修会・講師等の依頼ができ、今も助けていただいている。

有意義な3週間でした。知識の習得以外に参加者のネットワーク形成が業務に役立っています。

現場業務、先輩の姿などの現状、OJTと、本研修のOFFJTで自己の考え方の整理、モチベーションの向上など大変効果が上がった。ありがとうございました。

①保健活動の進め方について、考える機会が増え、効果的な活動方法についてのディスカッションの場が持てるようになってきている。活動の目的の確認・評価をする事が当たり前になっている事が、当該研修を受講したことによる一つの成果なのかもしれないと感じている②所内で計画のための会議や評価会議を実施する事が必要不可欠なものになっており、自らの公衆衛生看護管理の視点を常に意識する事が大切だと感じている③研修内容に事務職・栄養士・公衆衛生医師など、保健師以外の現場スタッフが保健活動についてどのように考えているのか、また、保健師活動をどう見ているのか、話していただく場、また意見交換の場を設定して欲しい。

保健師の行政力をつける研修は今度も必要だと痛感しており、要望したい。

研修で得たやる気が元気、何とかモチベーションを維持していますが、日々、保健師業務外の事務の増加、また、事務職の方々(研修の重要性を実感しております)の理解不十分等、揺らぐ時もあります。

H18年度に他職場から5年ぶりに保健所へ異動してきた不安や疑心暗鬼(自身の活動・力量に対して)な部分が一掃し、班員の意見にゆとりを持って傾聴でき、一緒にアイデアを練ったり、アドバイスを رفتりしている自分を再発見しています。受講したものにしか判らない不思議な感動があります。この思いを忘れずに、後輩への生き生きとした姿を示し続ける事ができれば、それも一つの現任教育ではないかと思っています(具体的には「保健活動の評価」を広めていきたい)。

この研修は内容も濃いですが、全国の仲間と一緒に研修することで「やる気」保健師の仲間の輪が全国に広がっていくようで、力強く、また励まされます。

貴重な研修の機会になりました。研修の資料は今でも、必要な時に振り返って確認する事があります。今後ともお願いします。

復講の機会が他の研修等の関係で遅れており、今年度中にはある予定ですが、なかなか伝達できていません。

①研修で知り合った仲間いつでも相談ができそうな気持ちになっています②本研修を続けていただきたいと思います。自分自身がリフレッシュする事ができたと思います。やる気が維持できるよう努力していきたいと思っています。

公衆衛生看護管理者研修を受講して、改めてこれまでの保健師活動を通して得る事ができたスキル・判断能力・実践力などを、きちんと評価できる形にする必要性を再確認し、後輩に引き継いでいく事が必要と感じました。自分の事ははっきりわかりませんが、同じ研修を受けた保健師を見ると受講後、リーダーとしての判断ができ、実践につなげている姿を見ると、この研修の重要性を強く感じます。ぜひ、毎年継続して実施していただきたいと思います。

保健師業務や公衆衛生活動について、語れる場って現場では意識して作る必要があるのが現状です。その役割をリーダー的PHN(中堅というべきか)が、担うのでしょうか。この研修はそういう意味で、元気が出ました。元気を維持していくためには…「語れる場」だと思います。ありがとうございました。

研修が終了し、時間の経過とともに、目の前の仕事に流されてしまっていると感じつつ、仕事をしていません。アンケートを記入することで、研修を終えた時の気持ちに戻る事ができ、もう一度気になっていることの仕切り直しをしたいと感じています。ありがとうございます。

研修は、保健活動へのモチベーションを高める機会ともなりました。予算も年々縮小されておりますが、毎年、派遣できるよう希望したいと思います。

まだまだ生かしきれっていませんが、実践の中でじわじわと息づいている感じがします。学んだことと実感がつながった時に、実感として理解されてくる、そんな感想を持っています。お世話になりました。

研修主任の評価、分析、コメント

“研修で学び得た判断の基準となる知識について、6割以上のものが保健所内で伝達・説明ができており、県市内への伝達・説明まで行われている者も3割を超えていた。

実際に、大いに現場で生かすことが出来たと答えた者は3割を超え、少し活かすことが出来た者は4割であった。このことから、地域への伝達・説明は行われているが、管理者としての立場を得ていないものもあり、実際、管理者としての判断を活用するには時間を要すると考えられる。

しかしながら、児童虐待・災害時の対応など現在の公衆衛生活動の課題への対応については、現場での取り組みに大いに活かすことが出来た、少しでも役だったと答えたものを合わせると6割であり、人材育成については、大いに活かすことができた、少しでも役だったと答えたものは7割を超えていたことから、実践的な知識については、早い段階で、役に立っていると評価できることが分かった。

研修で構築された他の参加者とのネットワークについては、現時点では、大いに活かすことができた、少し活かすことが出来た、を合わせると7割を超えているが、現場において今のところ活かす機会がなかったと答えた者も3割あり、今後期待したい。

現場に戻ってモチベーションややる気が現場でより一層高まっていると答えた者は2割であったが、現場で維持されていると答えた者は7割を超えており、やる気が維持されていることがうかがえた。

「大変有意義な研修でした。職場の後輩にもぜひ受講させたいと思います。」や「研修は保健活動へのモチベーションを高める機会ともなりました。予算も年々縮小されておりますが、毎年派遣できるよう希望したいと思います。」との意見もみられた。今後もこの研修は継続していく必要があることがわかった。

”